



足元を安定させ、安全で楽に急斜面での草刈りができる「楽カル」(山口市で)



「楽カル」の設置方法を紹介する鹿嶋社長(山口県防府市で)

のり面の安全な足場「楽カル」 売り上げ5年で10倍

山口のメーカー

農地ののり面に足場として設置し、急斜面での草刈りを安全で楽にする資材「楽カル」が好評だ。山口県防府市でプラスチック製品製造を手掛けるサンポリが、労力負担に悩む農家の声を基に開発。多面的機能維持・払制度などの資金を使って購入する組織が急増し、5年前は年間4000組だった売り上げが、10倍に伸びた。

再生プラスチックを使った「楽カル」は、縦12センチ・横1センチ・高さ18センチ。長さ45センチのくい3本を含め1組3センチと軽いが、耐荷重は150キログラムある。のり面と接する面に刻み目を付けて地面に食い込みやすくしてあり、くいを打って固定する。1組5分で簡単に設置できる。30〜45度の傾斜に対応し、15〜20年の耐久性を備える。2008年に商品化し、標準価格1組1650円(税別)で販

売する。「楽カル」は、兵庫県の農家の依頼で開発した。鹿嶋英一郎社長は「のり面の足場に木材や竹を使うが、腐りやすくて危険。安全で低コスト、簡単に設置できる資材を望む声に応えたかった」と振り返る。農村環境を守る活動を支援する多面的機能維持・払制度で交付金対象にもなる。土地改良区などを窓口でPRしたところ

好評で、1組織当たり平均1000組購入。万単位の注文もあるという。山口市の仁保地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会は、毎年購入している。約50戸が加入する北河内支部では17年度、300組を購入した。支部役員の山下建文さん(71)は「年4回の草刈りは大変で危険を伴う。足場ができて苦勞がかなり減った。滑って水路に足を突っ込んでけがをしないよう、水路横にも設置した」と話す。商品の問い合わせはサンポリ、(0835)23)6020。